



文章にはまとまりが必要です。その基本は、一つ一つの文で始めと終わりが正しく対応していることです。
Paragraphs and statements need to be cohesive. The basic means to achieve this is to ensure that beginning and final grammatical patterns correspond for each sentence.
一个段落中前后句之间要存在意义上的关联，构成段落的各个句子也要前后呼应。

【ポイント1】始めと終わりの対応にはいくつかの型があります。

There are a number of patterns for ensuring the beginning and end of a sentence correspond.／句子的前后呼应存在多种类型。

例1 ~には +…がいる …がある …が多い

- 世界にはいろいろな文化を持った国がある。
- この計画には問題点が多い。

例2 ~には・~のに(は) +…が必要だ …が便利だ …なければならぬ …がかかる

→第1部 C

- この仕事をするには車の運転ができなければならない。
- 外国へ行くにはパスポートが必要だ。

例3 ~のは +…だ …からだ …ためだ

→第1部 C

- わたしが祖母について思い出せるのは、優しい笑顔だけだ。
- 昨夜家に帰れなかつたのは、急ぎの仕事が終わらなかつたからです。

例4 どうして/なぜ～かというと +…からだ

→第2部 1課-④

- どうしてこの植物にあまり水をやらないかというと、その方がきれいな花が咲くからです。
- なぜこの仕事を選んだかというと、子どものときから動物が好きだったからだ。

【ポイント2】長い文では助詞と、それに対応する動詞が離れていることがあります。受身文や使役文などでは助詞と動詞の対応を間違えると、言いたいことが正しく伝えられないことがあるので特に注意しましょう。

→第3部 5課

In longer sentences, the particle and the verb that goes with it can be far apart. Pay particular attention to passive and causative sentences, ensuring the correct correspondence between particle and verb to correctly put across your meaning. 如果句子很长，一个助词有可能距离与它搭配使用的动词很远，助词或动词形式使用不当有可能影响意义的正确表达，被动句和使役句中助词或动词形式出错甚至会让人格外引起注意。



- 例・あしたリーさんに、だれか中国料理を教えてくれる人を紹介してもらおう。
- ・母親は子どもたちに、自分の部屋を毎週1回きれいに片付けさせた。
 - ・わたしは先生に、その文をすらすら読めるようになるまで何度も読ませた。

練習

どちらか適当な方を選びなさい。

- 今、困っているのは、

a お金のことだ。	b お金が足りない。
-----------	------------
- 初めて飛行機に乗ったのは、20年前に

a 両親とアメリカへ行った。	b 両親とアメリカへ行ったときだ。
----------------	-------------------
- 今朝早く

a 起きられなくて、	b 起きられなかつたのは、
------------	---------------

 昨夜お酒を飲みすぎたからだ。
- どうしてこの計画が中止になったかというと、

a 予算が足りません。	b 予算が足りないからです。
-------------	----------------
- この地方には昔から続いている

a 伝統的な行事がある。	b 伝統的な行事を見ることができる。
--------------	--------------------
- 山の頂上まで行くには、ここからさらに2時間ぐらい

a 登っていこう。	b 登らなければならない。
-----------	---------------
- つよしはじょうだんを言つていつもみんなを

a 笑わせるから、クラスの人気者だ。	b 笑われるのは、なんだかかわいそうだ。
--------------------	----------------------
- 林さんはピアノが好きで、子どもにも小さいときからずっと

a 習っていた。	b 習わせていた。
----------	-----------
- この学校ではバイクで通学することを

a 10年も前から校則で禁止している。	b 生徒会で話し合った結果、禁止された。
---------------------	----------------------
- わたしは母に、寒い朝でも向こうの角の所までごみを出しに

a 行かされる。	b 行くことになる。
----------	------------



まとまりのある文章にするためには、できごとの時間的前後関係に注意して文を続けなければなりません。また、ある時点で起きたことか、続いている状態かを確かめて、「～ている」を正しく使うことが大切です。

To make a cohesive statement, you have to pay attention to the timing of actions and events of preceding and following sentences. In addition, it is important to correctly use the ～ている form for things that happened at a certain point in time, or are ongoing. 在篇章中，要特别注意根据前后句所表示事项发生的前后顺序选用正确的时态表达方式。此外，还要根据在某一时刻事项是否已经发生、状态是否持续等体态意义来正确使用「～ている」。

【ポイント1】時間と動詞の形とを合わせます。

Words that express time and verb forms must agree.

使用时间副词时，主句谓语动词的时态要与时间副词所表示的时态一致。

- ・間もなく／もうすぐ／やがて／来年など + この子は5歳になる。(現在形)
- ・今／現在など + 雪が降っている。(～ている)
- ・去年／先週／4月1日など + わたしは日本に来た。(過去形)

【ポイント2】「～ている」の使い方

意味	例文
進行中の動作 Actions in progress. / 表示动作正在进行	わたしはそのとき旅行の準備をしていた。
習慣 custom / 表示习惯	弟は毎日サッカーの練習を行っている。
結果が残っている状態 State resulting from an action continues. 表示动作已经完成，其结果保留	駅のホームに財布が落ちていた。 町田さんはめがねをかけている。
形・様子 Form and appearance. / 表示性状	この道は海に続いている。 弟とぼくはあまり似ていない。
完了・未完了 Expresses completion or incompleteness. 表示完结或未完结	10年後、彼女も母親になっているだろうか。 9時に会場に着いた。もうみんな来ていた。 この子はまだ5歳になつていません。

【ポイント3】「～とき」の前の動詞や、名詞を説明する文の動詞の時制は、文全体の最後の動詞の出来事より先に起こることか、後に起こることかを考えて決めます。

The tense of the verb coming before とき, and of the verb that modifies the noun, depends on whether the actions happen before the event described by the verb at the end of the sentence or after.



以「～とき」结句的小句以及修饰其后的主名词、对其进行解释的小句的谓语动词要根据它们与主句动词所表示动作的发生时间的先后关系，来选择使用过去式或非过去式。

- ・ご飯をたべたとき、「ごちそうさま」とい言います。(食べる→いう)
- ・ご飯を食べるとき、「いただきます」とい言います。(言う→食べる)

- ・いつもいちばん早くはやきひと來た人がエアコンをつけます。(来る→つける)
- ・新幹線のなかのちやえきぱいてんかので飲むお茶を駅の売店で買った。(買う→飲む)

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 机の上に置いておいたぼくの大本はどこに(a 行く b 行った)のだろう。
- 来月、わたしがこの5年間で(a 作る b 作った)作品の展覧会が開かれます。
- 駅まで遠いですから、歩いていくのでは(a 疲れますよ b 疲れていますよ)。
- きのうわたしは12時過ぎまで(a 起きた b 起きていた)。
- まだ昼ご飯を(a 食べない b 食べていない)のなら、いつしょにどうですか。
- うちに(a 来る b 来た)ときは、連絡してください。駅まで迎えに行きます。
- 彼が港に(① a 着いた b 着いている)ときには、船はもう(② a 出た b 出ていた)。
- あした、林さんに(① a 会う b 会った)ときに、この本を(② a 返そう b 返した)。

練習2 ()の中の動詞を適当な形にして、書きなさい。

子どものころ、わたしのうちにはいろいろな動物が(いる→)。犬はもちろん、うさぎ、鳥、にわとりなど、みんな母がどこからか(もらってくる→)動物だった。母は動物の世話にとても興味を(持つ→)が、これらの動物にえさを(やる→)のはわたしの仕事だった。わたしは母が入れ物に(入れる →)えさを自分の手で動物たちに与えた。当時わたしはまだ小学生に(なる →)が、母の影響でいつの間にか大の動物好きになっていた。だから、動物園に(就職できる→)ときは、本当にうれしかった。